

例会報告 Rotary



ロータリーは世界の扉を開く

第2630回例会 令和2年11月21日
創立55周年 記念例会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 塚 和信
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

11月21(土) ひだホテルプラザにて、会員・奥様総勢43名の皆様にご参加いただき、創立55周年記念例会が開催されました。

<プログラム> 敬称略

<第2630回 例会 創立55周年記念式典>

		進行 :	田邊 淳
17:00	点 鐘	会 長	塚 和信
	開会の辞	式典委員長	萱垣 敬慈
	君が代および奉仕の理想		
	挨拶	実行委員長	米澤 久二
	会長の時間	会 長	塚 和信
	感謝状贈呈	過去5年の会長・幹事へ	
	閉式の辞	直前会長	遠藤 隆浩
17:20	点 鐘	会 長	塚 和信
17:35	ミニコンサート	和田典久トリオ with 花木さち子	
	<祝宴>	進行 :	黒木 正人
18:45	開宴挨拶	祝宴委員長	杉山 和宏
	乾 杯	副実行委員長	鴻野 幸泰
	めでた		挾土 貞吉
	座 付		
	余 興	5年間の軌跡	上映
20:50	終宴挨拶	副実行委員長	垣内 秀文
21:00	終 了		

<会長の時間>

高山西ロータリークラブ創立55周年記念式典開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

奥様方に於かれましては、日頃からロータリークラブの活動に対しまして、ご理解ご協力を賜わり誠にありがとうございます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画をしていました多くの対外事業や親睦事業が大幅に変更や中止となる中で、米澤実行委員長をはじめ委員の皆様のご努力により、新型コロナウイルス感染対策も万全に行っており、このように創立55周年記念式典、記念事業、祝賀会が出来ますことを、心から感謝しお礼申し上げます。

さて、今年には日本に初めてロータリークラブができて、丁度100年という節目の年になります。1920年10月20日、東京ロータリークラブは有志14名を集め設立総会を開きました。初代会長に米山梅吉、初代幹事に福島喜三次を選出し、シカゴの国際ロータリーに加盟申込書を送り、1921年4月1日に855番目のロータリークラブとして承認を受けました。創設当時は、活動に対する会員の関心も薄く、例会の存続も危ぶまれるほどでした。転機となったのは、1923年9月1日の起きた関東大震災です。「東京全滅」の凶報が海外に伝えられると、国際ロータリーや海外503のロータリークラブから、義援金や支援物資が続々と送られてきました。この義援金を

基に、東京ロータリークラブは、孤児院の新築や焼失した小学校188校に備品送呈、病院や殉職警察官遺族への寄付をするなど、その活動は被災者救援と震災復興の一助担いました。この大掛かりな社会奉仕活動は、会員に奉仕に対する喜びを与え、改めてロータリーの力を認識し、その発展を念願するようになりました。その後、日本全国にロータリークラブが次々に設立され、現在日本には、2,261のロータリークラブがあり88,000人以上の会員がいます。しかし、経済情勢の変化や震災、今回の新型コロナウイルス感染症等により会員数は減少傾向にあります。

当クラブも例外ではなく、ピーク時には68名いた会員数も現在は37名と半数近くに減少しています。当然これまでと同様な事業はできませんし、時代の変化への対応も必要です。そのため、前年度と今年度において大幅な組織改革と事業の見直しをさせていただきました。53年前に、諸先輩が苦勞し高山高等学校さんをお願いをして発足したインターアクトクラブですが、時代の流れに伴い活動が生徒さん達には合わなくなったようで、年々入部者が減少しへ来ました。そのため、苦渋の決断ですが伝統のあるインターアクトクラブを、本年度をもって廃部とさせていただくこととなりました。その一方で、新たな事業が立ち上がりました。前年度よりロータリー財団地区補助金を使った事業が行われるようになりました。単発の事業ですが、その年度の会長・幹事さんの思い入れのある、時代に合った事業をしています。本年度は、高山市にハンドボールという競技が更なる普及・発展を目指して12月5日に、40名程の小学生を対象に「ハンドボール講習体験会」を開催します。当初は、地元の社会人チーム「ブラックブルズ」の試合観戦も予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で無観客試合となり、残念ながらそれはできなくなりました。しかし、当日は選手たちに実演をしてもらいながら、競技の面白さを教えて頂くことになっています。そして次年度も、鴻野会長エレクト、向井副幹事により新たな財団補助事業を計画されているようであります。

今後も高山西ロータリークラブは、更なる飛躍と、活力あるクラブを目指し60周年、70周年、100周年へ向かい活動を続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方のさらなるご健勝、ご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

<実行委員長挨拶>

お忙しい中、そしてコロナ感染症が拡大している大変な状況下に創立55周年記念式典そして祝賀会にお集まりいただきありがとうございます。

今年には当RCが55周年であると同時に日本ロータリー100周年の年でもあります。

実行委員会そしてホテルのスタッフ皆様もコロナ感染対策には万全を期しております。ご不便があるかと思いますが、なにとぞ皆様今日はコロナ感染対策には十分ご注意願います。



例会報告

私ごとですが、35周年の時、右も左も分からないまま祝賀会の司会をさせていただきました。当時の親睦委員会委員長でした久保田さんに原稿を書いてもらい一字一句そのまま読みました。まさにおんぶに抱っこでした。今回の実行委員会のみなさんは私と違い大変頑張ってくださいました。

また門前さんはじめSAAの皆様にも会場の準備や受付など大変お世話になりました。ありがとうございます。

今日の参加者は高山西ロータリークラブの会員と配偶者の皆様という、言わば身内だけの会ですのでリラックスして充分にお楽しみください。

そして高山西ロータリークラブの輝かしい未来へのスタートとなる日にしましょう。

本日はありがとうございます。

＜和田典久トリオ with 花木さち子 ミニコンサート＞



＜感謝状贈呈＞

歴代会長



第51代 古橋 直彦 第53代 米澤 久二 第54代 門前 庄次郎 第55代 遠藤 隆浩

歴代幹事



第52代 堺 和信 第51代 遠藤 隆浩 第53代 鴻野 幸泰 第55代 垣内 秀文

＜祝宴＞



例会報告

